

なきごえ



1975

1

大阪市
天王寺動物園協会

新年のごあいさつ

1975年の輝かしい年明けを迎えるに当り一言ごあいさつ申し上げます。

当天王寺動物園は、大正4年1月1日、大阪市立動物園として開園して以来、本年をもちまして丁度60周年を迎えました。

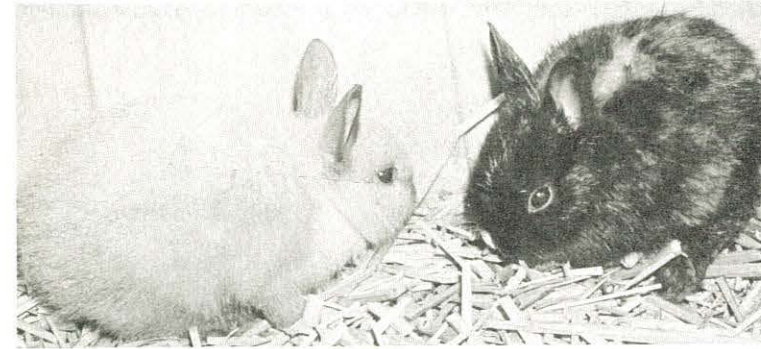
この間、時代とともに幾多の変遷を経てまいりました。開園以来着々と動物園の基盤が固まりつゝ、あった時、戦争へ突入し、これの激化に伴って獣舎の焼失、動物の大量死亡等大きな打撃を受けましたが、戦後日本の経済復興が急速にすすむとともに動物園も活気を取り戻してきたのであります。関係各位のご努力によりまして、獣舎ならびに庭園の新設改造を積極的に行い、日本で有数の名実ともに近代的な動物園として発展してまいりました。現在では年間320万人以上の人達が自然とうるおいを求めてご来園になります。今後も努力を重ね、教育施設として又、レクリエーションの場としてのより一層の充実を図りたいと考えております。

また都会から自然が去りゆく現在ですが動物園としては単に動物の蒐集、展示にとどまらず、環境整備に力を入れ、真に都会のオアシスとしての役目を果さなければなりません。

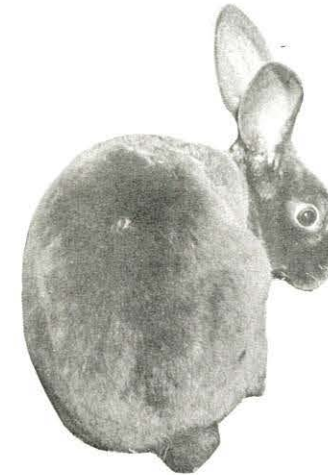
私達にとって自然の回復こそ現下の急務であります。人間も動物も同じ自然環境の下で生活していることを考えるとき自然から動物の姿が消え去ることは、人類の滅亡をも意味します。私達はこの自然を保存するのみならず動物の保護増殖のため科学技術を投入し、また各国との動物交換を実施し、積極的に自然の動物達を守るために努力しなければならないと考えます。

新年を迎え皆様方のより一層のご支援を、お願い申し上げます。

大阪市公園局長 宮北孝男



オランダミニウサギ



レックスウサギ



アンゴラウサギ

なごえ1月号もくじ

新年のごあいさつ	2
動物と私	3
兔との出会い	4
動物園グラフ	6・7
兔のお話	8・9
動物相談室(10)	10
動物園ニュース	11

表紙の写真説明

“オランダミニウサギ”

動物と私

浅田 柳一

あら玉の年の始めなら「おめでとう」と、紋切型でいきたいが、どうも今年は、おめでたいとは思えない。エラいご時世になったもんだ。

さて、今年はウサギの年だという。今どきエト談義でもあるまいが、毎年正月になると、いろんな動物が登場する。こんなことは、よい加減にすたりそうなものだが、エトの観念は案外根深いらしい。まあ別に邪魔になるものじゃなし、かえって初春のアクセサリーと思えば気にすることもなからう。

ところでウサギの話だが、因幡のウサギ、カチカチ山、ウサギとカメ、ウサギのモチつきと、民話や童謡で幼少の頃からなじみが深い。ペットのトップスターとなれば、まず犬か猫だが人によっては、ジンマシンが出るほどきらいな人もある。しかしウサギだけは誰にでも可愛がられる。ウサギをみて泣き出した幼児はいないだろう。見るからに愛らしいのもトクをしている。

「竹生島」の謡曲には「緑樹影沈んで魚樹に登る景色あり、月海上に浮んでは兎も波を走るか面白の島の景色や」とあるが、ウサギは水に弱いからそんな芸当はできない。

ウサギの肉は食用になるが、かしのスキ身と変わらぬ味である。鶏肉がフンダンに出回っている今日、かしわには不自由ないが、戦後食糧が極端に不足していたとき、屋台店の焼き鳥にウサギがまぎれ込んでいた。さぞかしホンモノのかしわだと思って食べたご仁も多からう。その頃、神戸の食堂でチキンカツを注文したらウサギを食わされた。ほんまにウカツ、な話である。

以前にウサギを飼ったこともあるが繁殖力が旺盛で、一年に七、八回もお産をする。一回に五、六匹生まれるから増えて増えて困った。人間は十カ月もオナカにいるが、ウサギはひと月ぐらいで生まれる。そのためでもあるまいが、智能の方はサッパリ。あの涼しい目つきと長い耳のスタイルから、いかにも利巧そうだが、そのじつ愚鈍なことは飼ってみてわかった。

そこで、身近な動物のうち、どれが一番利巧な

のかを考えてみた。さしずめ犬か猫が引き合いに出されるが、やっぱり犬の方が一枚優位。三日飼えば恩を忘れない、というから、賢いのに違いない。

以前、南極へ置き去りにされたカラフト犬が、一年後に元気で生きていたという明るいニュースがあった。ヘリコプターから降りてきた隊員に喜んで飛びついたという。人間がこんな目に合わされたら、どんなにボヤクか知れないのに、犬は嬉しそうに尾を振って隊員を迎えた。

犬は尾を振って喜びの感情を素直に表現する。たとえ南極へ置き去られても人間をうらまない。迷子になっても主人に出会えば喜んで尻尾をふる。犬の尻尾には何の邪心もないし、駆け引きもウソもない。

ところで、人間に尻尾があればどうだろう。少なくとも口先で言うことと、ハラのうちが違うなんてことはないだろう。喜怒哀楽が偽りなく表現できて、みんなが安心して暮らせそう。近ごろは年がら年中ウソのつきっぱなし、だまし合いの連続である。

借金の相談や断わりにもウソをいう。商売にも恋愛にもウソが伴うし、親子にも夫婦にもウソがつきまとう。全くウソとウソとで固まった世の中のような。

さしずめ日本の政治屋に尻尾がついたら、庶民の生活はよほど救われると思う。ウワベは巧言令色、立派なことをいっても内心はぜんぜん反対、天下ご免でウソを叫んでいる。

紺屋高尾の久造は、ウソの世界でマコトを見つけた。紺屋の職人よりもエラい政治屋が、犬の尻尾を見て真実を感じないのは、これもウカツな話である。新年早々、憎まれ口をたたいてご免なさい。

(随筆家)



兎との出会い

吉田 平七郎

△今年に兎の当り年で卯の方位は東、時刻は明け六つで午前6時前後の2時間だから時間と空間ともに日の出に通じ世界がほのぼのと明るくなり万物が活動を開始する象徴になっている。中国で白兎は月の精で寿千歳だといふ不老長寿の兎神にまでなっている。誠にめでたい兎に私がとりつかれたのは京都の博物館で鳥獣戯画の実物を見た時であった。

△オ1巻には兎が40匹、蛙が25匹共に主役になっているのはジャンプのきく動物で前足が短く後足が長い点人間と相通じて擬人化させるのに都合がよかったから取材した作者の着想に感心した。兎はトウホクノウサギ(エチゴウサギ)の冬形で耳の先に黒点の確認できるもの37匹あり、これはノウサギ一般の特徴である認識標で、この事実だけでもオ3巻の兎には其がなくて作者が別人であることを指摘して発表したことがあった。

△郵便切手ではヒテンシュタインのアルプスのユキノウサギ(1946年)が冬形で耳の黒点を見事に描写している。冬期に白化するのは短日性の結果であることが知られている。兎が走る時には耳を立てるもので正確に表現されているのはソ連の1960年発行のもの以外にはない。昨年8月発行された日本の自然保護シリーズの3回目アマミノクロウサギは1921年天然記念物動物でオ一番に指定されたたものであった。

△何かと兎の特種を取材中昔軍医さんの襟章に蒲の穂がついていたのを思出し、たまたま大矢尚史先生が保存されていたので提供してもらった。因幡の白兎に因んだもので大国主命は我国動物愛護のオ一人者でもあった。鳥取県には白兎神社があり、鳥取市からバスの便があるが私は白兎駅で下車した。神社に参拝時間があれば近く伝説の遊岐島、兎が上陸した気多前、負傷してたおれていた高尾山、体を淡水で洗って蒲の穂を着けたという水門池、それから身を乾かした身干山までがある。

△観光案内ではないが出羽三山の羽黒山松例祭には兎の神事が1月31日に行われる。月山神社は月読命を祭り、月山の玉兎は卯年の参拝記念に出たもので珍品。近く近畿では三井寺の山麓にある三尾神社のお使いが兎で神社の紋章にもなっている。奈良県桜井市の大神神社(三輪明神)に撫で兎のブロンズが

あるとき照会してみると主神が大国主神で元文年間奉納された金灯籠の頂にあったもので其だけが残り、いつとなく天神様の撫牛なみに変身利用されているらしい。

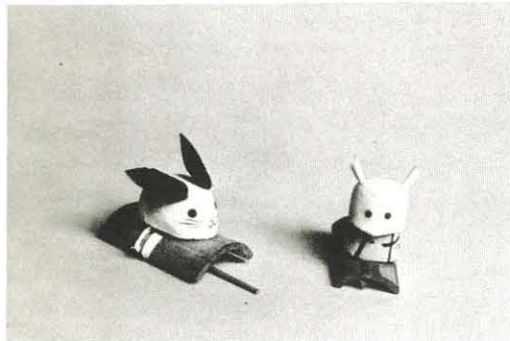
△兎のお守りで気になるのは西洋では兎の足が幸運のおまじないになり特に俳優やサーカス等の芸能人が大切に持っている、私も入手したがその理由が解らない。英国の辞書には兎の左後足とまで出ていた。兎のシンボルを探索していると藤堂高虎(桃山時代)の兎立耳の兜ありこれは始め処女の如く後脱兎の如しという兵法で駆け出す兎の勢よく素早いことから脱兎の勢ともいわれ其にかけたものらしい。又、加藤明周(江戸末期)の鎧に月に木賊と兎あり常に刀剣を磨いて名月の如く輝くに通じておもしろい。△昔話ではない薬屋の店頭にある兎は不老不死の仙薬で元気にピョンピョン跳ねるにかけている。近頃大阪市の地下鉄ポスターにラビット(アナウサギ)計画とてスマートにスピーデイにと謳っている。かつて英国の地下鉄ポスターでもドッグレース(競犬)用の電気兎が使用されていたことあり、私も唯一度阪神間でグレイハウンドの獲物になって先頭を走らせる電気兎を撮影したことがある。思いもよらぬ所で兎が活用されている。ある証券会社のペットマークに兎あり問合せみると長い耳でよく情報をキャッチして機敏な処置をすること、誠に兎は耳ばかりでなく目玉も大きくて180度走っていても前後がよく見えるという。

△今年はこのすばらしい兎にあやかり耳と目と足を活用して視野をひろめ見聞を高め用心深く慎重に坂道の難関を見事に飛躍突破して行きたいものと念願している。

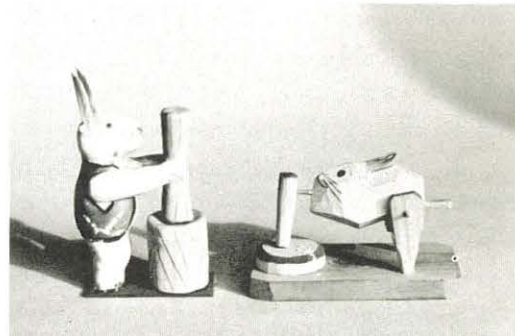
△末筆ながら本年の兎展は当り年の浅田柳一氏の恵贈品が過半数で御自身原地中国で入手された数々の珍品あり、我国では望月から兎の餅つきに転化した中国では不老不死の仙薬つきである事実を証明する兎神像のおもちゃは貴重な資料である。又奈良御門人形の張子波に兎は郷玩中最高の傑作で謡曲竹生島に「月海上に浮んでは兎も波を走るか面白の島の景色や」とあり、蕪村の句に「名月やうさぎのわたる諏訪の湖」がある。これだけでも観賞価値あり正月の話題にしてほしい。

(おもちゃの動物園長)

動物園グラフ



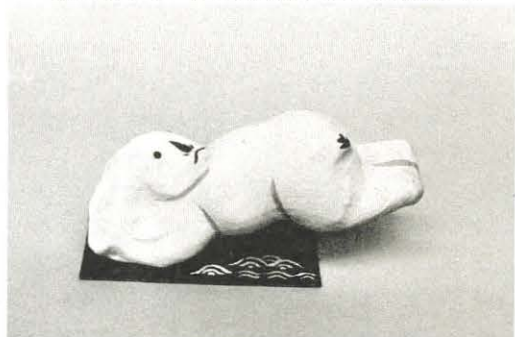
とんだりはねたり (左大阪、右東京)



兎の餅つき (左大阪張子、右笹野彫り)



竹細工の兎



波に兎 (奈良御門人形)



沖縄の兎



青森のひねり

11. 12月の動物園日記

- 11/26. イワトビペンギンが4羽新たに入園し9羽になりました。
 ホーブラが疝痛を起こしたので軽い運動などをさせて治療しました。
 27. さし餌を続けていたサイチョウが死亡しました。生後20日ほどの仔ブタ2頭の寄附がありました。
 28. ゴリラのオス(ゴロ)が下痢気味で治療しています。

29. 今まで別居させてあった成長したオランウータンのオス、メスを同居させました。
 12/1. ヘラサギが2羽入園しました。
 水禽舎にオシドリ用の巣箱を設置しました。
 3. 治療中のゴリラのオスの経過は良好です。
 4. 全国動物園水族館のオ22回獣医師並に飼育技術者の研究会が大阪で開催されました。
 5. シロクマの若オスが舌を切ってかなり出血しているため、止血剤と抗生物質を投与して治療しています。
 6. チャイロカケイが1番入園しました。

『うさぎのおもちゃ』

今年も恒例の『干支にちなむうさぎのおもちゃ展』が開かれました。世界各国からうさぎのおもちゃ160点を集めて展示されました。その中から、数点を御紹介しましょう。 出品 吉田平七郎先生



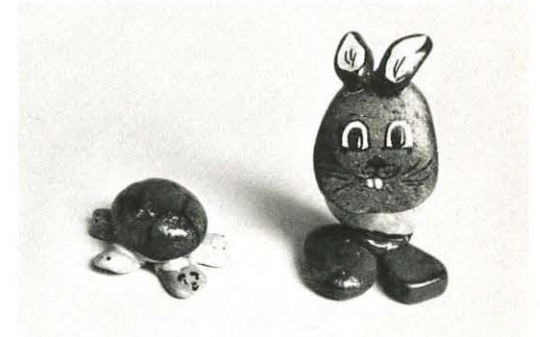
ギリシャ (月世界に兎はいなかった)



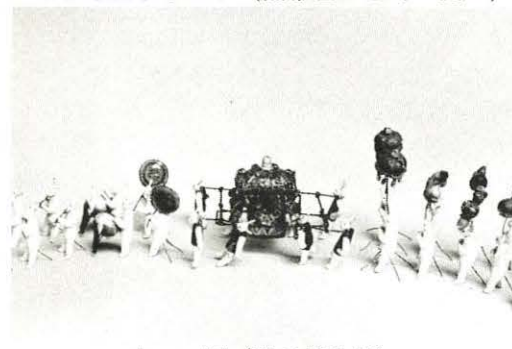
イギリス (兎の家族) ローヤルダルトン



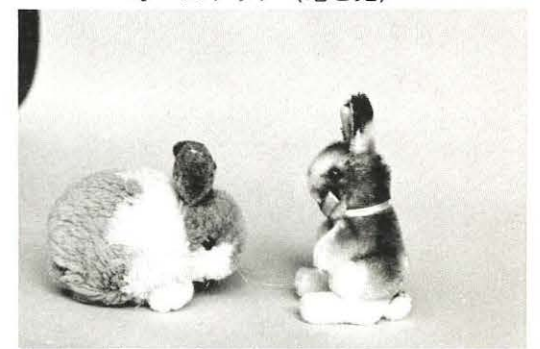
アフリカ、ケニア (熱帯産ほど耳が長い)



オーストリア (亀と兎)



中国 (兎の嫁入り)



ドイツ(左カイウサギと右ノウサギ)シュタイフ

7. オナガガモが2番入園しました。
 シマハイエナの左下顎部に深い創傷ができたため、研究室のスクイーズケージに収容して治療しています。
 8. 最後に1頭残っていた今年ふ化したスジオナメラが、惜しくも死亡しました。
 モルモット(長毛種)2頭の寄附がありました。
 10. バクのオス(ルース)が29才の高令と急激な寒さのために死亡しました。死因は老衰によるもので、肝硬変、動脈硬化も見られました。
 12. ブタオザルのオスが衰弱して虚脱状態に陥った

- め、研究室に収容して治療しています。
 キリン舎の暖房を開始しました。
 14. フラミンゴ34羽の羽切りを実施しました。
 15. ラマが交尾しました。
 16. 趾瘤症で両足共ひどくはれて痛々しそだったカタジロワシが、どうにか治りました。
 18. ジャコウネコ1頭の寄贈がありました。
 クロエリハクチョウが2ヶ産卵しているのが確認されました。
 21. シマウマの駆虫を実施したところ多数の回虫が排泄されました。

兔のお話

長瀬 健二郎

今年の干支は兎です。それにちなんで兎の話しましょう。

大きな耳、愛くるしい目、白い綿毛に包まれた丸々とした体、どれをとっても子供達のアイドルとして十分な資格を持っているようです。そのせいか兎が主人公の童話はとてたくさんあります。例えば「月のウサギ」のお話。おじいさんに姿を変えた神様に、クマとサルは食物をあげたが、ウサギはあげることができなかつた。そこで自分自身の体を火で焼いて、おじいさんにあげた。神様はそれをあわれんで、その魂を月へ連れて行った。それが月の兎で、今でも月でお餅をついている。一というお話です。その他にも「ウサギとカメ」、「カチカチ山」、「イナバの白ウサギ」等々、沢山の童話があります。しかし、童話の中のウサギ達はあまり可愛らしくないようです。「ウサギとカメ」の中のいばってばかりいて、怠け者のウサギ。「カチカチ山」の中のウサギはタヌキに大ヤケドをさせたり、溺死させたりする冷血漢。また「イナバのシロウサギ」では、ワニザメをだまからかしそのためひどい目に合う、ずるいくせに少し間の抜けているのがウサギです。このように童話の中のウサギは必ずしも愛らしいだけではないようです。我々の先祖は農耕民族でした。その農耕を生活の糧とする我々の先祖にとって作物を荒すウサギはこにくらしい害獣でしかなかったのではないのでしょうか。その結果このような童話が作られたのではないかと思います。

さて、ウサギと一口に言いますが、このウサギには実に66種（分類学者によってももう少し少ないという人もいます）もの種類が知られています。そしてそれらはオーストラリアを除く世界各地に広く分布しています。このように兎はとて環境への適応力が強く、生活力が非常に旺盛です。この点、親戚筋のネズミにとて似ています。これら66種は大きく2つに分れます。ナキウサギ科とウサギ科です。このうち日本にはナキウサギ科のエゾナキウサギ、ウサギ科のアマミノクロウサギ、ユキウサギ、ノウサギの4種が生息し、また家畜としてウサギ科のイエウサギが居ます。以上5種について話を進めましょう。

普通、ペットショップなどで見られるウサギはイエウサギといい、約2000年前、スペインに住むアナウサギから家畜化されました。今では日本白色種、チンチラ、アンゴラ等と沢山の品種が作られ、肉用、毛皮用、毛用などと広く利用されています。また実験動物としても、あるいは愛玩用、教材用にも日本では広く見られます。日本白色種の場合、体重は大体5kg位、年に多いときで6回も出産します。1度に平均5、6頭の仔を産みその仔は先祖のアナウサギの仔と同じく、目は閉じていて毛も生えていません。

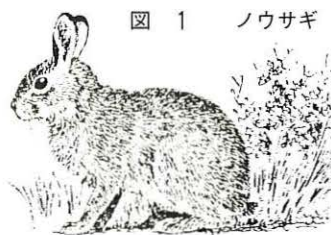


図1 ノウサギ

ノウサギは北海道を除く、全国各地の森林や草地に住んでいます。

「ウサギ追いかの山」と歌われたウサギも恐らく

このウサギでしょう。ノウサギは巣穴は作らずに、地上のへこみなどに大体2頭の仔を産みます。仔はアナウサギと違い、目は開いていて、毛も生えています。母親は授乳時以外仔のそばにはいません。皆んな知っているように夏には毛は茶色に、冬には白色になります。しかし、これは雪の多い地方に限って起り、冬でもあまり雪の降らない九州に住むノウサギでは冬毛が白くなるのは少ないようです。この方が保護色としてははるかに合理的ですね。

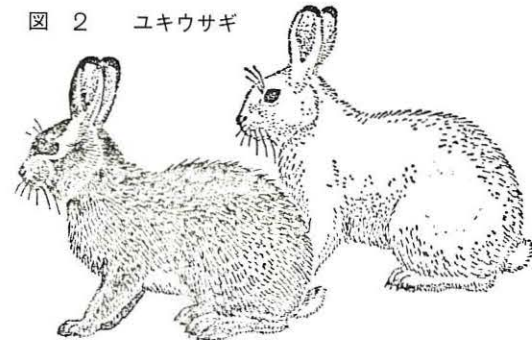


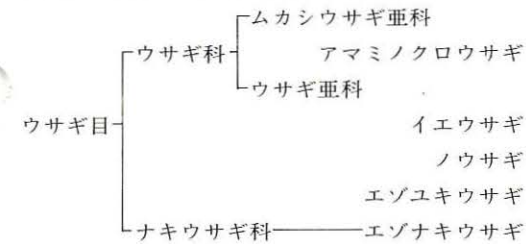
図2 ユキウサギ

ノウサギとは逆に北海道のみに住むユキウサギは特にエゾユキウサギと呼ばれます。このエゾユキウサギは冬になると耳の先のこげ茶色を除いて全身真っ白になります。体の大きさはノウサギに比べ少し大

形ですがイエウサギよりは小さく3kg位にしかありません。このウサギもノウサギと同じく巣穴は作らず、岩の割れ目や石の間に住み、そこで仔を産みます。

1回に生まれる仔は大体2～5頭位です。

以上述べた3種のウサギはウサギ科、ウサギ亜科に属しますがこれから述べるアマミノクロウサギはウサギ科のムカシウサギ亜科に属します。つまり日本にいる5種を表にするとこうです。



このムカシウサギ亜科の一種、アマミノクロウサギは奄美大島と徳之島に生息しています。このウサギの仲間は今から4000万年前から5000万年前に繁栄していました。しかし約3000万年前何らかの原因で滅亡してしまつたのです。それが今世紀に入って、メキシコの一部、南アフリカの一部、それに日本の奄美大島と徳之島の3ヶ所でムカシウサギの仲間が生息していることが確認されました。まさしく「生きている化石」です。1921年早速、天然記念物に指定され、今では特別天然記念物に昇格しています。また世界的にも貴重な動物として注目され、国際保護動物とされています。歯の数やその構造に非常に原始的な面を残したこのアマミノクロウサギはその他

図3 アマミノクロウサギ



耳が小さい、四肢と尾が短いなど普通のウサギとは違つたずんぐりした体型をしています。習性はあまりよく判っていませんが、大体単独で行動し、10～12月と4～5月に1頭の仔を深さ1、2m位の横穴に産みます。母親は仔と同居せず、夜だけ巣穴に

やってきて授乳するそうです。天敵としては、ハブ、ドブネズミ、クマネズミ野犬、野猫があげられます。現在、奄美大島に約600頭、徳之島に約250頭と、合計して1000頭にも満たない上、このように天敵が多くまた森林の開発が進んで生息域のせばめられたこの貴重なアマミノクロウサギは絶滅が非常に心配されています。

さて最後はエゾナキウサギです。ナキウサギ科には14種のナキウサギがありますが、そのうち12種がアジアに住んでいます。この12種のうちのシベリア等に分布するキタ



ナキウサギの1亜種が北海道のみに分布しているエゾナキウサギです。これも天然記念物になっています。このウサギはとて

小さく、前述のイエウサギが約5kgになるのに比べ、約150gとモルモット位の大きさにしかありません。その他、

- ・耳がとて小さい
- ・前足と後足の長さが大体同じ位
- ・金属性の声を出す

等々カイウサギとはかなり違つた点を持つウサギです。約100万年前日本にも北から大氷河が押し寄せて来ました。この氷河と一語に北海道にやって来たのがこのエゾナキウサギなのです。やがて氷河が去り、取り残されたエゾナキウサギは寒さを求め寒冷地方に住み生活をやり直したのです。またこの寒さに耐えるため、このウサギは秋の間に8ヶ月分ものえさを貯え、長く続く北海道の厳しい冬を過しているのです。

ともあれ、今年は兎年で天王寺動物園は60周年を迎えます。つまり今年、環暦を迎える天王寺動物園は年男でもあるわけです。干支の兎のように、年男である天王寺動物園は、去年にも増して今年は飛躍の年であるよう努力したいと考えております。

(飼育課)

動物相談室 (10)

今年のエトのウサギにちなんで、今回はウサギに関する質問を取りあげてみました。

1. ウサギの種類は？

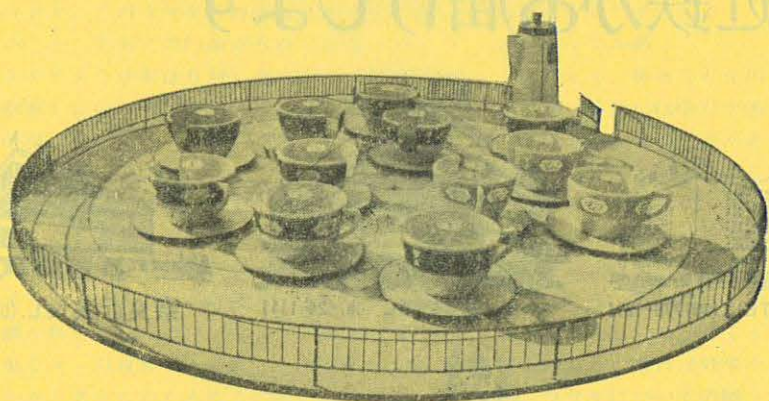
ウサギはナキウサギ科とウサギ科に分類され、66種類が確認されています。日本には、ナキウサギ、ノウサギ、



しかし最近では、ウサギはウサギ目として分類されるようになってきており、ウサギを齧歯目から独立させて考える方が正しいようです。ウサギと齧歯類のちがいは、ウサギの場合上あごに2対の門歯があり、その歯は前後共エナメル質に包まれているのに対し、齧歯類の場合はこの上あごの門歯が1対で、エナメル質は歯の前面にあるのみです。

6. ウサギの病気について

遊園施設委託経営・製作・販売



久竹 娯楽株式会社

本社 工場 大阪市西区南堀江通3-40
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

耳が長いわけではありません。この耳が長いのはウサギには汗を出す汗腺がないために、熱を放散させる手段として耳が発達したと考えられているのです。

5. ウサギとネズミ類とのちがいは？

ウサギは齧歯類のヤマアラシ、ネズミ、リスなどは全く異ったものなのですが、古い本など見ますとしばしば齧歯目に入れられている場合があります。

ウサギが走る時は耳を倒して走ると一般には思われがちで、実際に絵などで耳を倒して走っているウサギをよく見ます。ところがウサギは走っている際には耳を直立させたまま走ります。ヤブなどに飛びこむ時のみ耳を伏せます。

(宮下 実)

動物園ニュース

☆アカカンガルーの赤ちゃんお目見得！

9月頃からメスのアカカンガルーの袋が少しずつふくらみ出し、しかもよく動くのでこれは袋の内に赤ちゃんが入っているのにちがいないと思っていたところ、12月中旬頃より赤ちゃんが顔を出すようになりました。昭和44年以来出産がなかっただけに喜びもひとしおです。



☆クロエリハクチョウ抱卵

12月18日、クロエリハクチョウが2ケの卵を産卵しているのが確認されました。以後の産卵状況は不明ですが、24日現在で完全に抱卵体制に入っているため、今年1月末にはかわいいヒナの誕生が期待されています。一昨年6月にも4羽のヒナが誕生しており、うまくいけば今年が2回目の誕生に



なるかもしれません。

☆フラミンゴの羽切り

フラミンゴの風切羽が長くなって脱柵の危険が大きくなってきたため、12月14日、34羽のフラミンゴを収容室に追こんで、風切羽を一斉に切り落としました。いつもはいつもーズン前の8月頃に行っているのですが、羽が非常に長くなったため今回12月にもう1度行ったわけです。



☆新着動物

12月に新しく入った動物を紹介します。12月4日にチャイロカケイが1番、12月9日にはオナガガモが2番入りしました。ヘラサギは2羽入りしました。寄贈動物ではジャコウネコ1頭、巻毛種のモルモット2頭などの寄付もありました。



☆才22回獣医師並びに飼育技術者研究会開催！

全国動物園水族館の獣医師並びに飼育技術者の研究会が12月4、5日に大阪で行われました。これは毎年1回全国の動物園水族館に勤務する獣医師並びに飼育技術者が集まって、日頃の研究成果を発表するもので、45の動物園水族館から65人が参加して熱心に行なわれました。

☆動物とよ子のクリスマスパーティー

12月23日、動物園の動物達と幼稚園の園児が参加してクリスマスパーティーを開きました。動物園側からはオランウータン1頭(サツキ、4才)、チンパンジー(サクラ、4才)、ウサギ2頭、トカラヤギ2頭が、幼稚園はめぐみ幼稚園々児8名が参加してクリスマスツリーを飾付け、ケーキを食べてお祝しました。



☆ハボタンのウサギ登場

動物園中央門入口正面に、今年のエトにちなんでハボタンでできたウサギが置かれ、入園者の目を楽しませてしています。このウサギは色ちがいのハボタンを約500個使って作られたものです。



☆世界のウサギのおもちゃ展と生きたウサギの展示

今年のエトにちなんで冷房ペンギン舎で世界のウサギのおもちゃ展を開いています。出展者はおもちゃの動物園長吉田平七郎氏で16ヶ国 200点のおもちゃを展示しています。一方、生きたウサギはチンパンジー舎横に珍しい種類のウサギを、ラクダの横には普通のアナウサギ2頭を展示し、それぞれしめ縄と鏡もちを供えています。(会期1月1日～1月15日)

お知らせ

◎毎月才三曜日は動物園の休園日です。1月は20日が休園日になります。

◎1月16日～2月末まで南門付近で工事を行いますのでこの期間中は南門を閉鎖します。入場されるお客様は中央門、東門へおまわりください。

◎おねがい◎

今年は、天王寺動物園の開園60周年にあたります。このため、記念事業をいろいろ計画中で資料を集めていますが、何分、創立当初や、戦前の資料はかなり散逸してしまっています。そうした昔の天王寺動物園のどんな資料でも結構ですからお持ちの方は、恐縮ですが当園まで、お知らせ下されれば幸甚と存じます。

動物相談室 (10)

今年のエトのウサギにちなんで、今回はウサギに関する質問を取りあげてみました。

1. ウサギの種類は？

ウサギはナキウサギ科とウサギ科に分類され、66種類が確認されています。日本には、ナキウサギ、ノウサギ、ユキウサギ、アマミノクロウサギの4種類が生息しています。



2. 天然記念物は？

日本で天然記念物に指定されているのは徳之島、奄美大島に生息するアマミノクロウサギ1種だけです。このウサギの特徴は耳が丸くて極端に小さいこと、上あごの臼歯が5対しかないこと(カイウサギやノウサギは6対)などがあげられます。現在飼育している所は奄美大島の大和小中学校ただ1ヶ所だけです。

3. ウサギの数は？

この質問はよく受けるのですが、多分小学校の算数などでウサギを1羽、2羽などと数えるので、鳥でもないのになぜそんなふうに数えるのか疑問に思われるのでしょうか。これは仏教伝来以来、四つ足動物の食習慣が禁じられたのですが、山間地域ではウサギは貴重なタンパク資源であるため、何とか食べられないものかと考えられた古代人の苦肉の策です。つまりウサギを分解すると鳥のウとサギになるため、ウサギを鳥と扱うように考えたわけです。ですからウサギの正確な数は1頭、2頭が正しいのです。ちなみにイノシシはヤマクジラと称して食に供しました。

4. ウサギの耳はなぜ長い？

一般にウサギの耳は非常に長く、これは聴覚を鋭くさせるためのものと思われがちです。確かにウサギは聴覚、嗅覚はすばらしく発達しており、視覚はあまりよくありません。しかし聴覚のためばかりに耳が長いわけではありません。この耳が長いわけはウサギには汗を出す汗腺がないために、熱を放散させる手段として耳が発達したと考えられているのです。

5. ウサギとネズミ類とのちがいは？

ウサギは齧歯類のヤマアラシ、ネズミ、リスなどとは全く異ったものなのですが、古い本など見ますとしばしば齧歯目に入れられている場合があります。

しかし最近では、ウサギはウサギ目として分類されるようになってきており、ウサギを齧歯目から独立させて考える方が正しいようです。ウサギと齧歯類のちがいは、ウサギの場合上あごに2対の門歯があり、その歯は前後共エナメル質に包まれているのに対し、齧歯類の場合はこの上あごの門歯が1対で、エナメル質は歯の前面にあるのみです。

6. ウサギの病気について

○コクシジウム症

ウサギが下痢を続け食欲をなくしてやせてくる症状が認められたら、まずコクシジウム症が疑われます。一応獣医さんなどに糞便検査をしてもらってオーシストの確認が必要です。このコクシジウムというのは腸の粘膜や肝臓などに寄生する原虫で、幼若なウサギがこれにかかると9割以上が死亡するという恐ろしい病気です。治療としてはサルファ剤の投与とかが有効です。

○スナッフ病

クシャミ、鼻水などを出し呼吸困難をおこす病気ですが、非常に感染力が強いため隔離すると共にケージの消毒をする必要があります。治療としては抗生物質を与え、保温することが一番です。

○耳疥癬

耳の中に疥癬というダニの一種が寄生するもので、耳介部にかさぶたなどができてひどく汚れているようでしたら、疥癬の寄生が考えられます。このかさぶたをやさしくはがしてイオウ剤や外部寄生虫用の駆虫剤などを塗れば効果があります。

7. ウサギについての誤った知識

ウサギに水を飲ましてはいけないと信じておられる飼主が意外に多いのには驚かされます。確かに水分の多い野菜ばかり与えていれば、水の摂取をそんなに必要とするものではありませんが、やはり少量が必要です。穀類を主体に与えている場合ですと、200ccほどの水を1日に飲みます。ですから常に新鮮な水を給与してやらねばなりません。

次にウサギの持ち方ですが、耳を持つと考えておられる方が少なくありません。これはウサギを非常に苦しめる持ち方で、実際には首すじの皮ふのたるみをつかんでやればよく、おしりに軽く手を当ててささえてやれば、ウサギはおとなしくしています。

ウサギが走る時は耳を倒して走ると一般には思われがちで、実際に絵などで耳を倒して走っているウサギをよく見ます。ところがウサギは走っている際には耳を直立させたまま走ります。ヤブなどに飛びこむ時のみ耳を伏せます。(宮下実)

動物園ニュース

☆アカカンガルーの赤ちゃんお目見得！

9月頃からメスのアカカンガルーの袋が少しずつふくらみ出し、しかもよく動くのでこれは袋の内に赤ちゃんが入っているのにちがいないと思っていたところ、12月中旬頃より赤ちゃんが顔を出すようになりました。昭和44年以来出



☆第22回獣医師並びに飼育技術者研究会開催！

全国動物園水族館の獣医師並びに飼育技術者の研究会が12月4、5日に大阪で行われました。これは毎年1回全国の動物園水族館に勤務する獣医師並びに飼育技術者が集まって、日頃の研究成果を発表するもので、45の動物園水族館から65人が参加して熱心に行なわれました。

☆動物とよ子のクリスマスパーティ

12月23日、動物園の動物達と幼稚園の園児が参加してクリスマスパーティを開



夢が広がるショッピング…… 近鉄がお届けします



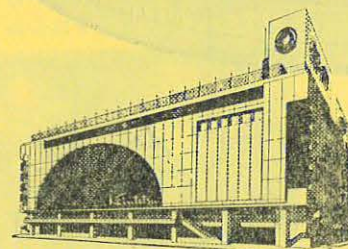
上本町近鉄 TEL. (06) 779-1231



アベノ近鉄 TEL. (06) 624-1111



奈良近鉄 TEL. (0742) 33-1111



東京近鉄



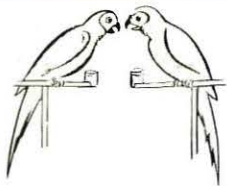
りました。
寄贈動物ではジャコウネコ1頭、巻毛種のモルモット2頭などの寄付もありました。

奥門、東門へおまわりください。

◎おねがい◎

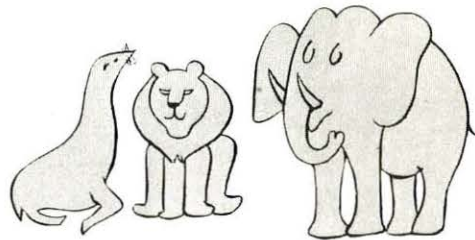
今年は、天王寺動物園の開園60周年にあたります。このため、記念事業をいろいろ計画中で資料を集めていますが、何分、創立当初や、戦前の資料はかなり散逸してしまっています。そうした昔の天王寺動物園のどんな資料でも結講ですからお持ちの方は、恐縮ですが当園まで、お知らせ下されば幸甚と存じます。

なきごえ 昭和50年1月15日発行 (毎月1回15日発行) 第11巻第1号(通巻114号)
 編集/大阪市天王寺動物園 〒543 大阪市天王寺区玉水町2
 発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳 電話 大阪 (06)771-0201
 印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部)1,100円(送料共)
 振替口座 大阪 37823



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各140c.c.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

〈小谷 潔・林 邦彦・大野尊信・米田敏光・樽本 勲・田上 勝〉
 〈中川道朗・農本武志・深井和美・東 政宏・宮下 実〉